NIE実践報告

１．タイトル：キャリア教育における新聞の効果的な活用

２．学校名

名古屋市立神沢中学校

３．実践者名（代表者名）

原　雅和

４．学年

中学校第１学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間（学級３４名・学年２０４名）

６．単元（本時の学習課題）名

本時の学習課題：「キラリと光る仕事人」の姿を新聞から読み取ろう

７．目標(狙い)

新聞記事をもとに、何名かの「キラリと光る働く人々」の姿を読み取り、「生き生きと仕事をする」ための必要な条件について、根拠を示して発表できるようにする。

８．評価の視点

自分なりの視点で、新聞資料から仕事の実情を読み取るとともに、根拠を示しながら「生き生きと仕事をするための条件」を発表し合い、班でまとめることができたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「職業を知ろう」［総合的な学習の時間：１１時間]

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①ビデオ鑑賞と新聞記者（生活部）の講演から、職業学習についての関心を高める。（２時間）
②書籍やネット資料をもとに、自分に割り当てられた仕事について、ワークシートにまとめた上で、班の中で発表する。（４時間）
③冬季休業中の宿題として、家族や親戚などの身近な人から「仕事の苦労とやりがい」を聞き取り、ワークシートにまとめる。
④新聞記事から「キラリと光る仕事人（２回）」（本時）「世の中での仕事の実情（２回）」をテーマに班ごとでの発表会を経た上で、学級で発表する。（４時間）
⑤学習を終えての自己評価活動（１時間）
（留意点）
・学習活動を行う２ヶ月ほど、係生徒が、仕事についての新聞スクラップの壁新聞を掲示、更新し、学年の生徒全体の、学習への関心、意欲を高める。
・まとめや発表をスムーズに行えるように、作業用ワークシートを工夫する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

ビデオ、講演、書籍、聞き取り、新聞記事等、様々な情報源から仕事についての調べ学習を行ったが、いろいろな角度から仕事について学ぶことができ、生徒は意欲的に学習できた。特に新聞記事を題材にした学習では、特徴的な情報・題材が多く見られたためか、興味を持って取り組むことができた。

12．成果と課題

・仕事について様々な教材を用いた中でも、新聞資料には特に「力」があることを改めて再確認した。他の分野での学習でも活かしていきたい。また、調べた内容について、時間を区切り、班内・学級内で発表する活動は、記事の「読み取りの質」や、「他者の意見を聞く力」を高める上で効果があった。
・２年連続で第１学年で同様の取り組みを行い、キャリア教育に新聞活用を取り込んできたが、担当者が交代しても同様の質の実践ができるように、指導の手順を引き継いでいきたい。